

教育広報

いわみざわ市の教育



…特集… 子どもの安全を守る児童見守りシステム
いわなびサロンを開催します！



4 月 26 日、岩見沢小学校で、グラウンドが完成した
記念に野球大会が行われました。
出場した 5 チームが、優勝を目指して元気よくプ
レーをしていました。

岩見沢市教育委員会 Facebook

市内の教育に関する行事の情報、市教
委ホームページの更新情報などを発信し
ていますので、ぜひ「いいね！」してく
ださい。

<http://www.facebook.com/edu.iwamizawa>



子どもの安全を守る 児童見守りシステム

児童見守りシステムについて

児童見守りシステムは、児童の登下校の安全・安心を高めるため、希望する児童にＩＣタグを携行してもらい、登下校の情報を保護者にメール配信するなど、不審者情報等について情報提供するシステムです。

市では、平成 19 年 10 月から運用を開始し、ＩＣタグサービスは現在、小学校 1 年生から 5 年生が利用可能となっています。同サービスは保護者から非常に高い評価を受けていることもあり、本年度の 8 月までに、6 年生も利用可能となります。また、一斉同報サービスによる不審者情報等の情報提供は、ＩＣタグサービス利用者を含め、現在、市内小学校 15 校、中学校 2 校に在籍する児童・生徒の保護者が利用しており、その利用率は年々増加しています。

児童見守りシステムイメージ図

学 校・児童館

- ◎小学校・児童館の玄関に設置したセンサーでＩＣタグを携行した児童の登下校を検知し、登録した保護者の携帯電話やパソコンにメールで配信

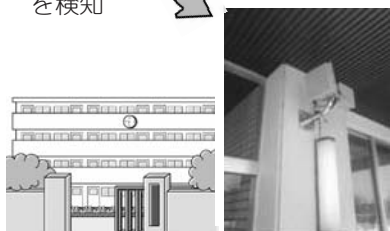


ＩＣタグ（拡大）



児童がＩＣタグを携行

児童の登下校
を検知



学校・児童館

センサー

教育委員会・学校

- ◎登録した保護者に不審者情報、災害に関する情報等を一斉同報メールで配信



登下校の
情報を配信

一斉同報メール



家 庭



サポートセンター

- ◎保護者等の問合せに対応する窓口



利用者の声（利用者の感想を一部紹介します。）

- ・登下校メールが届くことで、とても安心することができます。
- ・学校に着いた時刻や出た時刻がわかるため、とても便利（送迎時など）で安心です。
- ・最初に、このシステムを聞いたときに、少し過保護すぎないかと思いましたが、最近は不審者情報も多く、近所付き合いも希薄になっているので、きちんと学校に着いたことや学校を出た時刻がわかることで、親として心配は少なくなったと思います。



いわなびサロンを開催します！



◇いわなびサロンってなに？

いわなびサロンは、生涯学習センター「いわなび」を利用してもらうことや理解を深めてもらうために、趣味や教養、娯楽、健康など、市民の皆さんが気軽に参加できる活動を実施しています。

また、実施した活動の中からサークルが出来るなど、市民の皆さんの生涯学習活動への基礎づくりの推進になればと考えています。



生涯学習センター「いわなび」

◇昨年度の実績

昨年度は、3月に3種類の講座を6回、子どもから大人までの幅広い年齢層の方を対象に、皆さんが気軽に参加しやすい時間帯に開催し、大変好評でした。

今年度も昨年度同様、皆さんが気軽に楽しめるような講座・教室を開催しますので、参加をお待ちしています。

☆昨年度の活動の様子を紹介します



ジェルキャンドルアート製作体験

カラーサンドにビー玉などを散りばめたキャンドルをつくりました



とんぼ玉アクセサリ製作体験

とんぼ玉を使ったオリジナルアクセサリをつくりました



お料理とおもてなし教室

おもてなしをすること、されることを実際に料理をつくりながら学びました

問 合 先

生涯学習・文化・スポーツ振興課
学習活動支援係

住 所：岩見沢市4条西1丁目3番地4

いわなび内

電話番号：0126-23-9236

FAX 番号：0126-23-9235



新しい時代のPTA活動を目指して 志文小学校

志文小学校PTAでは、本年12月の新校舎落成を契機として、活動の見直しを行う予定です。よき伝統は継承しつつも、前例踏襲を廃し、子どもの育ちをより一層支えるPTAとなるよう、現在準備を進めているところです。

たとえば、本校においても、年度当初の役員決めがなかなかうまく進まないという現状があります。そこで、新体制においては、会員全員が部員となるような形に改める予定です。具体的には、各部の業務を細分化するとともに、いつ、どこで、どんな活動をするのか明示することにより、会員全員の関わりを促していきたいと考えています。

また、行事や活動の内容と会員のニーズの間に隔たりがある様子が見られることから、活動の再構成を行う予定です。具体的には、「PTAバザー」の取組を「子ども縁日（仮称）」に転換するなど、子どもを中心に据えた行事・活動に一層重点を置く予定です。



子ども縁日

必要性があっても、何かのきっかけがなければ、現存する組織を変えるのは難しいものです。新校舎に寄せる期待は、保護者・児童ともに大きく、それをベースとしながら、本校の新時代にふさわしいPTA活動を構築していきたいと考えています。

学校を応援するPTAの取組

～各学校PTAの活動紹介～



市内26の小・中学校・市立高校の単位PTAの活動の様子を順に紹介していきます。



本校を支えるPTAの活動 豊中学校



体育祭

豊中学校PTAでは、（１）青少年の健全育成（２）PTA研修活動の充実（３）青少年の生命と安全を守る活動の推進（４）学校教育活動への協力と支援の４点を活動の目標として、研修旅行・行事等の企画推進、学校祭バザーへの協力、学年独自の学年・学級茶話会の開催、広報誌「伝言板」の発行、PTA体育行事の企画推進、校外生活指導・交通安全指導への協力など沢山の活動に意欲的に取り組んでいます。

特に、毎年6月の第1週土曜日に開催される体育祭においては、審判や来賓接待の補助など、運営面において先生方と協力しながら、全校生徒がグラウンドで活躍する姿を応援しています。また、学校祭では、子どもたちが楽しみにしているバザーに、うどん・そば、カレーライスやデザートなどを準備しながら、舞台上で繰り広げられる合唱や劇などの文化的活動に声援を送ります。

こうした活動を含めて、全体をサポートする三役会、そして様々な形で活動する学年部・専門部の皆様を中心に、PTA活動が一層活発になっていくことを願ってやみません。



学校祭バザー

夢にむかって心をひとつに

岩見沢第一アトムズスポーツ少年団

岩見沢第一アトムズスポーツ少年団は、創設から今年で36

年になります。

昨年の11月から北真パイレーツが、今年からは、北村ボマーズの団員が加入し、岩見沢市内4校の児童と、隣の月形町からの児童1名が参加しています。

練習は、週に5日実施しておりますが、平日に団員が全員そろうことが難しく、苦慮しているところです。

先日、平成26年度の岩見沢第一アトムズ父母会の総会と結団式を団員、父母及び指導者で行い、その中で目標を発表してもらいましたが、多くの団員がみんなで力を合わせ、大きな大会で優勝する事を目標にしていました。



そのためにも、団員、父母及び指導者が一致団結して目標に向かって進んでいくことを確認し、結団式を終えました。

各種大会においては、それぞれが頂点を目指し、一つでも多く勝つことが目標ではありますが、日頃の練習の成果をしっかりと発揮し、悔いのないプレーをすること、そして、失敗を恐れず一生懸命プレーする事が一番大切なことだと思います。

今後は、各学校とも児童数の減少によって、団員を確保することに、苦慮することと思います。第一アトムズも今回「駅北連合軍」として、新たに出発をし、今後の団員確保については、ティーボール体験を実施するなど、まずは野球を気軽に楽しめる環境をつくりたいと思います。

駅北連合軍はこれからも、子どもたちの「野球がしたい！」という思いと、保護者の「応援したい！」という気持ちを一つにして、いろいろなハンを乗り越え結びついたチームとして、子どもたちを支えられるよう頑張っていきたいと思っています。



市民に親しまれる会 を目ざして 岩見沢吟詠会

日本詩吟学院は、昭和11年3月に創始者木村岳風師により設

立され、昭和43年には社団法人。平成23年11月には公益法人に認定され、現在全国に7万人の会員を擁しております。その中で、岩見沢吟詠会は昭和43年に道内31番目の支部として認可され、平成24年度に45周年記念大会を行い、現在に至っております。

今年度岩見沢吟詠会は、「吟詠を通して崇高な精神を育て、人格の完成を目ざし個性豊かな日本文化の創造と発展に寄与しよう!」、「正当吟の吟技の向上に努めよう!」との目標を掲げ、4月より新年度をスタートしました。

毎年の主な活動としては、年2回の吟詠大会、昇段審査会をはじめ種々の研修会、市主催の行事



への参加(彩花まつり、文化祭等)、また、ボランティアとして幼稚園、児童館、老人施設での吟詠指導等を長年行っております。過去には中学校での選択授業への参加や卒業を控えられた中学生に吟詠を披露し、伝統文化に触れていただく試みもさせていただきました。

特に昨年は、中央小学校5年生の「伝統文化を伝える」という授業に参加させていただき、有意義な時を持たせていただきました。

生徒さんたちが、生き生きと喜んで参加してくださり、感謝のお手紙までいただき大変に励まされました。



「伝統文化を伝える」授業

「作者の心に共感して吟詠する。この吟道をとおして社会へ貢献し、自らも輝くこと」との設立者木村岳風師の教を土台に、次世代へ吟道を伝えたい希望を持ちつつ岩見沢吟詠会の小学生から95歳までの会員150名は日々研鑽を積んでおります。

みんなで食育

この度の4月の人事異動で、学校給食共同調理所3箇所では4名の栄養教諭が一新しました。栄養教諭

とは、児童生徒の発育において、栄養状態の管理や栄養教育の推進をめざして、平成17年度に新たに設けられた栄養教諭制度による、教育職員です。岩見沢市では、岩見沢小学校、志文小学校、北村小学校及び栗沢小学校に配置されるとともに、3調理所へも兼職しています。

学校では配置校を中心に、他の21校へも食に関する指導、給食指導などを行っています。また、各調理所では、給食用物資の調達や調理所の衛生管理などを行っています。

調理所では、子どもたちが食べていた様子、先生方からの意見なども踏まえ、調理員と意見交換をするなど、毎日おいしい給食を提供できるように話し合いを重ね、1食の給食を作り上げています。

調理所では、安全・安心で子どもたちが「おいしい！」と笑顔になる給食を提供できるよう、努めていますので、是非ご家庭でも、お子様と一緒に給食だよりなどを見ながら、「食」について話してみませんか。より「食」に対して興味・関心を高めることにつながると思います。

家庭でできる

簡単給食レシピ♪

「キーマカレー」(4月の給食より)

※材料(4人分)※

- ・豚ひき肉 100g
- ・玉葱 2個
- ・水 400cc
- ・人参 1本(小さめ)
- ・カレー粉 小さじ1
- ・おろしにんにく 小さじ2
- ・チャツネ 大さじ1
- ・おろし生姜 小さじ2
- ・トマトケチャップ 大さじ2
- ・ウスターソース 大さじ2
- ・カレールウ 100g

(給食では3種類のルウを使用しています)

※作り方※

- ①玉葱・人参はみじん切りにする。
- ②ひき肉を生姜、にんにく、カレー粉と一緒に炒める。
- ③玉葱を加え、良く炒める。玉葱がしんなりしたら、人参を加え炒める。
- ④水を入れて煮る。
- ⑤チャツネ・トマトケチャップ・ウスターソース・カレールウを入れて煮込む。
- ⑥味見して、出来上がり。

ひとくちメモ

学校給食でカレーは定番メニューです！そのなかでも、キーマカレーは豚肉と野菜の旨みがしっかり出て、子どもたちにもとても人気でした。この日は岩見沢産の玉葱を使用しました。

キーマカレーの「キーマ」は「ひき肉」を意味するそうです。ナンなどに付けて食べてもおいしいですよ！



教育長室から



一人一人の子どもの健やかな成長を願って

岩見沢で学ぶ子どもたちが、「学校が楽しい」「勉強できるようになった」「友達や仲間も沢山いる」「真剣に教えてくれる教師がいる」など、この学校で学べてよかったと、学校に愛着を持って、毎日、楽しく学校に通ってほしいと願っています。

しかし、残念なことに中には、いじめや嫌がらせをされたり、勉強に不安を感じたり、心や身体の発達・性格行動等によって集団生活になじめないなど、悩んだり苦しんだりしている子どももいます。

子どもたち一人一人は、かけがえのない大切な存在です。その子どもたちが、笑顔で安心して学校に通える環境づくりと居心地の良い居場所づくりに力を注いでいきたいと考えています。

そこで、今年から適応指導教室での教育相談体制を充実しました。

具体的には、学校心理士(コーディネータ)を相談窓口、スクールカウンセラースーパーバイザー(大学教授)、医療アドバイザー(市立病院小児科医)、スクールソーシャルワーカー(社会福祉の専門家)を配置し、「こころや体の不調を訴え、学校に行きたがらない」、「不登校が続いている」、「友人関係が上手に築けない」、「学校の指導に不安を感じる」等々、学校生活に関することや家庭での子育てに関することなどについて専門家が子どもや保護者、教職員と直接面談して解決策などを一緒に考えていきます。また、学校に通えるようになるまでの学びの居場所として適応指導教室と青少年センターも整備しています。

一人一人の子どもの健やかな成長を願って、保護者・学校と連携を図っていきたいと考えています。気軽に相談して下さい。

=ご意見・ご要望をおよせください=

<担当> 岩見沢市教育委員会学校教育課総務係

〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地

であえーる岩見沢3階

☎ 0126-35-5123

FAX 0126-25-2995

メール ejyouhou@i-hamanasu.jp